



健康的な天然木材の床

フローリング・ニュース

発行所：一般社団法人日本フローリング工業会
編集責任者：広報法務委員長 石本勝範

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル 6F
TEL 03-3868-0971 FAX 03-3868-0972 <https://www.j-flooring.jp/>

(一社)日本フローリング工業会 市川英治会長 インタビュー

木材の不足・価格高騰、コロナ禍による住宅等着工減少などフローリング業界をとりまく情勢が厳しい中、市川会長に現下についてのお考えを伺いました。



「木質系フローリングは 良質な住環境作りに貢献している」

— フローリングは木質系だけでも色々な種類がありますが、会長はフローリングについてどのようなお考えをお持ちでしょうか。

シート、タイルなどのフローリングを別に眺めるわけではないが、肌合いが良く、人が住んで体に良いのは木質系フローリングだと考えている。私たちは木質系フローリングで良質な住環境作りに貢献していると考えている。ただ、木材は再生産ができる材料であるとはいえ、伐採できる量は有限であり、育てるのに時間がかかる。だから無垢だけにこだわるというより、今後は効率的、合理的に木材を利用していく必要がある。また、今までは広葉樹主体であったが、これからは国産材のスギ、ヒノキなどの針葉樹を主体としたフローリングにも力を入れていくべきだろう。

— 社会・業界にさまざまな影響を及ぼしているコロナ禍について思うところをお聞かせください。

幸いなことにフローリングの施工現場は、作業員どうしが離れて施工しているため、3密とならないので感染リスクが比較的少ないのではないかと。政府指導の遵守や、手洗い、うがいの励行などの対策も定着してきている。もちろん、油断するわけではないが、クラスター発生リスクが比較的小さい業種であることは有難いことだと思っている。

— 最近の木材不足、価格高騰について思うところをお聞かせください。

現在、米国内の木材相場が既に下がってきているにもかかわらず、国内の木材価格高騰が続いているのは現状にあってないのではないかと。木材価格が上がるのは林業・木材産業にとって悪いことではないが、適正な量と適正な価格から大きく外れるのは業界全体にとっても、消費者にとっても良いことではない。木材のバイオマス利用、国産材の輸出を進めることに理解はできるが、政府には木材輸入の状況も含めた全体バランスのとれた政策を望みたい。

— 今後の当工業会についてはどういうお考えをお持ちでしょうか。

コロナ禍の中、この1年以上、まともな活動ができておらず会員には申し訳ないと思っている。工業会が現在かかえる一番の問題は収入が減少してしまったことだ。このままではコロナ禍が去っても今までのような工業会活動ができなくなってしまう。会長一人では限られてはいるが、この問題については、しっかりと対応をしていきたい。

令和3年度通常総会が書面で開催される



令和3年度通常総会は3月3日に東京で開催を予定していましたが、コロナ禍対策として政府が発令していた緊急事態宣言が10都府県を対象として3月7日まで延長されたことから、総会の集会開催を見合わせることにしました。このため、令和3年度の通常総会は、令和3年3月23日～4月13日に書面にて開催し、フローリング張り標準仕様書の説明会開催などを盛り込んだ令和3年度の活動計画、予算等が了承されました。

3月理事会も書面にて開催

例年3月に開催する通常総会に合わせて開催している3月理事会については、通常総会と同じ理由により、書面により開催され、次の議案が了承されました。

- 1 令和3年度通常総会を書面にて開催すること
- 2 通常総会に提案する議案
- 3 コロナ禍が落ち着けば令和3年度に臨時総会を開催できること
- 4 令和4年度の予算編成の考え方



公共建築物等木材利用促進法が改正される

フローリングニュース vol. 62 (2020年12月冬季号) で掲載しました議員立法による「公共建築物等木材利用促進法」の改正法案が6月11日に可決・成立し、本年10月1日から施行されることとなりました。改正により法の対象が民間建築物まで拡大されることとなります。改正法による施策の拡充等に関する概要は次のとおりです。

- ◆ 対象を公共建築物から建築物一般に拡大
- ◆ 木造建築物の設計・施工に係る先進的技術の普及の促進、人材の育成、建築用木材・木造建築物の安全性に関する情報提供等
- ◆ 国・地方公共団体と事業者等による建築物における木材利用促進のための協定制度を創設
- ◆ 国・地方公共団体による協定を締結した事業者等への必要な支援
- ◆ 強度・耐火性に優れた建築用木材の製造技術及び製造コスト低廉化技術の開発・普及の促進等
- ◆ 国・地方公共団体による表彰

細田理事が旭日単光章を受賞

令和3年春の褒章で細田木材工業(株)の細田悌治社長・当工業会理事が旭日単光章(経済産業省推薦)を受章されました。

細田社長の受章は、新規事業開拓、国産材の新たな利用、特徴ある企業経営を永年に渡って展開してきたことが、中小企業としての顕著な功績であるとして認められたものです。

細田社長からは、

「当社創業90周年に当たり栄誉なことで励みになる。私個人がいただいたというよりは、兄たちが築いてきた成果、社員と取引先様がともに積み上げてきたお客様に喜ばれる製品製造・施工を通じた社会貢献が認められたものだと思う。今後も会社一丸となって、木材の高機能化、国産材利用等に取り組み、社会に貢献していきたい。」

と受章に当たってのお言葉を寄せていただきました。



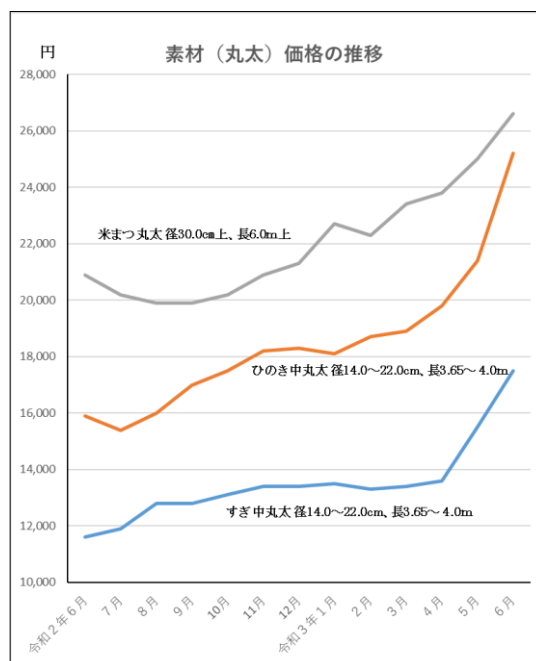
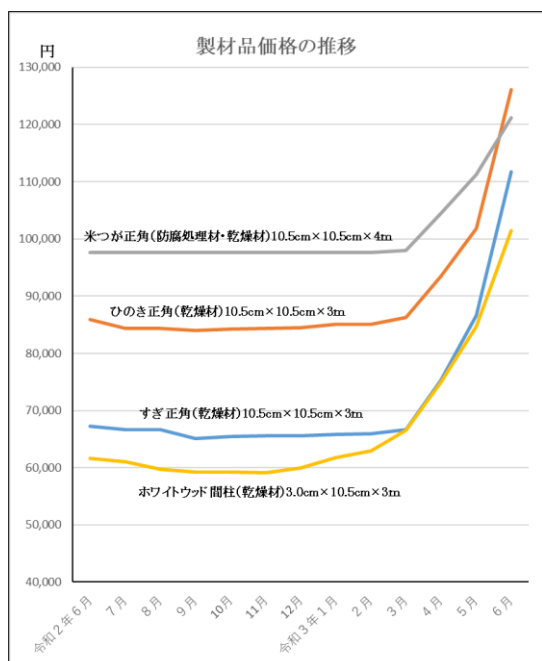
おめでとうございます!!

木材の価格高騰状況

最近、木材価格が高騰しています。農林水産省統計による主要な樹種のこの1年間(令和2年6月~令和3年6月)の価格推移をみますと、今年3~4月頃から製材品、丸太とも急上昇しており、製材品のすぎ正角で約70%、ひのき正角で約50%上昇しています。

(全国平均値ですので地域によってはこの値と大きく乖離する場合があります)

	樹種	令和3年6月			令和2年12月	令和2年6月
		価格 (円)	(令和2年 12月比 %)	(令和2年 6月比 %)	価格 (円)	価格 (円)
製材品	すぎ正角	111,800	170%	166%	65,600	67,300
	ひのき正角	126,100	149%	147%	84,500	85,900
	米つが正角	121,200	124%	124%	97,600	97,600
	ホワイトウッド 間柱	101,500	169%	165%	60,000	61,600
素材 (丸太)	すぎ中丸太	17,500	131%	151%	13,400	11,600
	ひのき中丸太	25,200	138%	158%	18,300	15,900
	米まつ丸太	26,600	125%	127%	21,300	20,900



関東甲信越支部だより

田伏大伸 関東甲信越支部（マルコー株式会社）

会員企業の皆様、この環境下の中いかがお過ごしでしょうか。改めて会員支部の皆様及びフローリング工業会に携わる皆様のおかげをもちまして運営できます事感謝申し上げます。

このコロナ禍における約1年と数か月を少し振り返りますと、昨年2月に横浜のクルーズ船から未知の感染症がメディアに取り上げられ、4月に初の緊急事態宣言が発令され第一波～今日まで世界情勢・日本国内外におけるさまざまな分野での荒波が今も続いている状況です。建設現場においては、現在は朝礼の人数制限・入退場における検温と消毒・安全協議会及び安全大会の中止もしくはリモート開催が実施されております。しかし当時は未知の感染症対策がわからず、朝礼は満員状態・消毒設備も不足し（特にマスクは一枚も買えない状態が数か月）、現場に従事していただいている技能士さん達は常にメンタル面で不安（いつ感染するか）と隣り合わせでした。

あと昨年は施工流通部会の幹事支部として当初の計画から東京に変更し何とか皆様との【集う】場を模索しておりましたが結果中止となりその後も支部会・理事会等も【集う】場から書面決議になりました。何一つ行事が実行できず今を迎えているのが現状でございます。来年に向けて会員の皆様と一緒に当会における『ビジョン』を検討していける環境作りが提案できればと考えております。

首都圏においては今後再開発の案件計画・非住宅や構造物における木材利用促進等検討されております。しかしながら今月開催するオリンピック・パラリンピックの動向と感染状況によって大きな舵をとる大切な節目の時期になると思われまます。

皆様との情報共有する【集う】場の提供とこれからも人と人との関係作りを大切にしたいと思っております。

ひとこと

渡部 泰 関東甲信越支部（江戸川木材工業株式会社）

先日の大雨により、被害に遭われました皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

国内においては「新型コロナウイルスの感染者数が〇〇〇人でした。」と報告されるのが日常になっており影響が長期化する状況ですが、ワクチン接種が進んでいる先進国では経済活動が活発化してきており、パンデミック前と同水準かそれ以上となってきている国もあります。皆様もご存じの通り、急速な住宅需要に木材供給が追いつかず価格の高騰と材料不足で「ウッドショック」なる言葉が頻繁に使われるようになりました。弊社の所在地新木場でも、売りたいモノが無いと嘆く方々が多いのではないのでしょうか。

これを機にもっと国産材利用を！と言っても、簡単ではないのが現状です。床メーカーの方々もたくさんの工夫をして国産材活用に尽力されています。更に国産材が注目され、政府が掲げる2025年までに木材自給率50%へ向け、良い施策と活用が進んでいってほしいと思っております。

さて、このフローリング・ニュースが発行される頃には東京オリンピックが始まっている頃でしょうか。会場の周辺では6月頃から急ピッチで最終の工事が進んでおります。道路には何時の間にかオリンピック専用レーンのマークが記され、駅には2020の文字がたくさん踊っています。本当でしたら、観光客が大勢来日して盛り上がっていた頃ですが寂しいですね。こんな環境でも開催して良かったと言える大会になってほしいものです。

●広報法務委員

- 委員長 石本 勝範
- 委員 佐藤 仁明 委員 矢野 伸和
- 委員 清見 謙造 委員 當舎 弘造

●会員動向 令和3年7月1日時点

正会員	51社
賛助会員	18社
合計	69社

●告知板

コロナ禍の状況のみて理事会等を開催予定

編集後記

競泳の池江璃花子選手が白血病の苛酷な闘病生活を乗り越え、復帰後は驚異的な期間でタイムを縮め、東京オリンピック出場を果たしました。残酷な現状にもあきらめずに立ち向かい続ける姿に深い感動を覚え、たえ小さなことであっても、業界の厳しい現状環境に対するためにできることはなんでもしていきたいとの思いに力をいただきました。

